
サワイグループホールディングスの成長戦略

2022年9月10日

東京証券取引所市場 プライム市場
証券コード:4887

sawai

沢井製薬を中核とする持株会社
ジェネリック医薬品事業を中心に、社会とともに持続的に発展するヘルスケア企業グループを目指し
2021年4月に持株会社体制に移行

会社名	サワイグループホールディングス(株)
創業	1929年4月
設立	2021年4月
資本金	100億円
本社	大阪市淀川区
上場市場	東京証券取引所市場 プライム市場 (証券コード:4887)
代表者	代表取締役社長 末吉 一彦
事業内容	グループの経営管理および 関連する業務を担う持株会社
従業員数	2,968名（連結、2022年3月末）
業績	売上収益 1,938億円、コア営業利益 263億円、営業利益△359億円 (連結、2022年3月期)



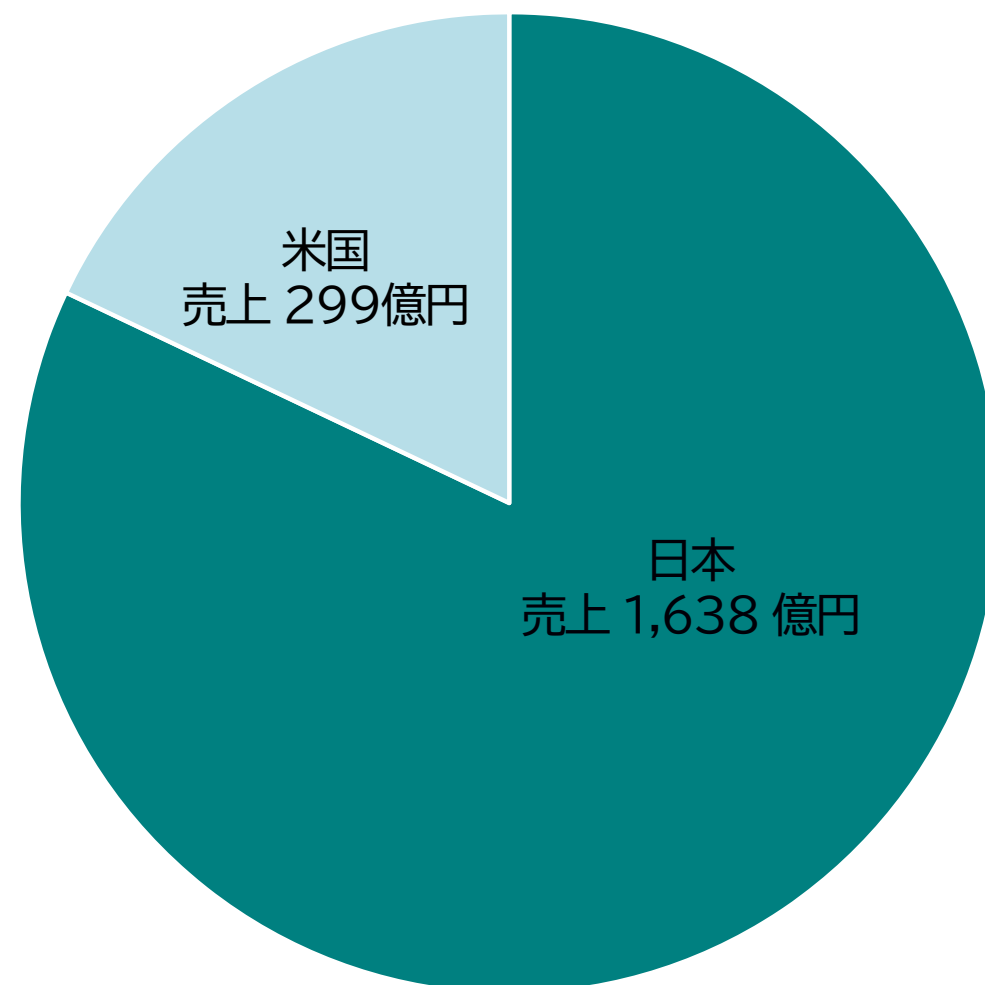
国内、米国それぞれにおいてジェネリック医薬品事業を展開
(日本事業: 沢井製薬・メディサ新薬・化研生薬、米国事業: Upsher-smith)

沢井製薬

- 1948 年設立の医療用医薬品メーカー
- 高品質・高付加価値のジェネリック医薬品の製造・販売を通じて、少子高齢化や医療の高度化に伴う医療費の増大という社会的課題の解決に貢献

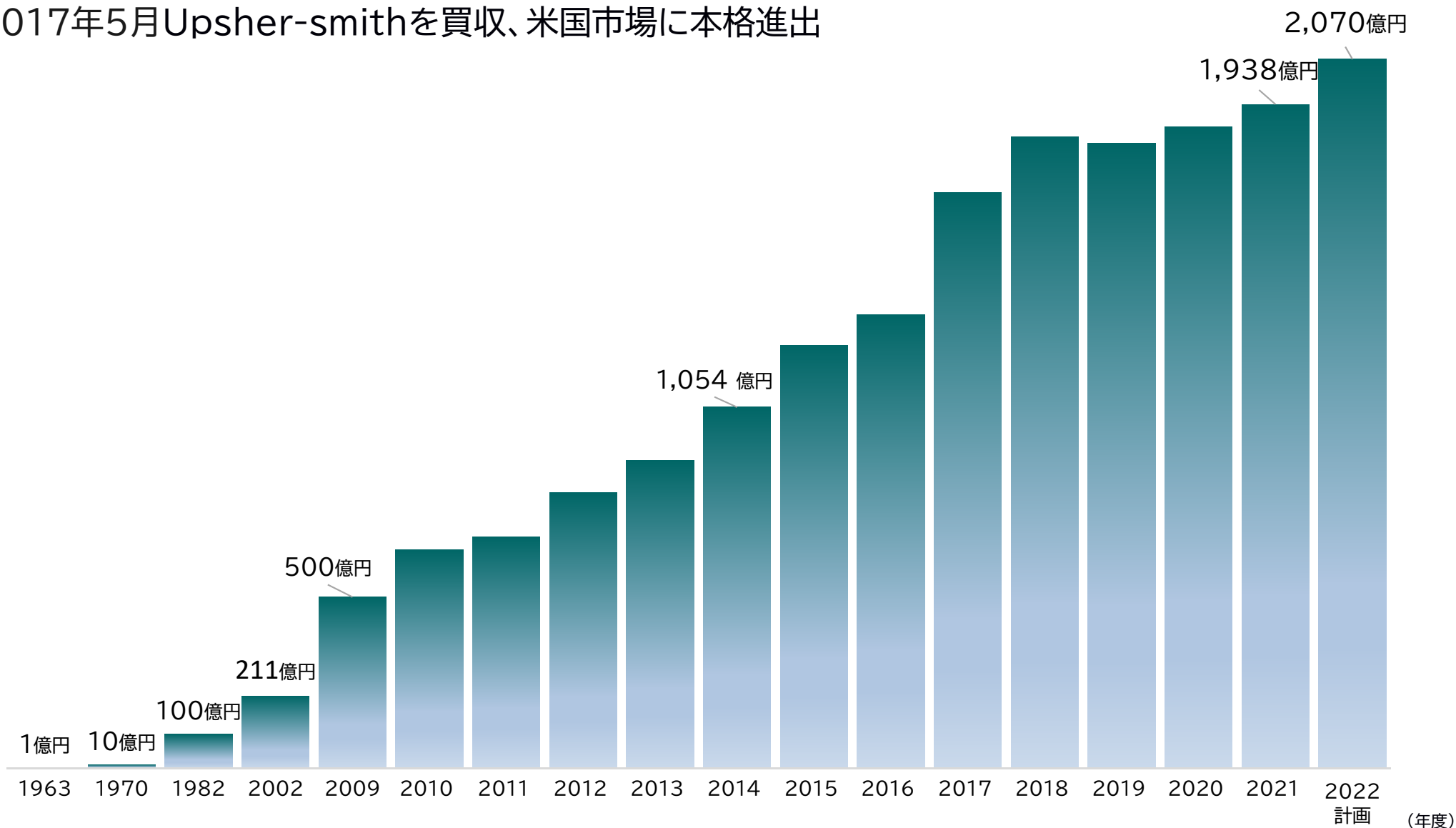
Upsher-smith

- 1919年に設立、創業100年の歴史を持つ米国本社ジェネリック製薬企業
- 市場シェア上位の製品や製造難度の高い徐放性製剤を有し、独自のポジションを構築



— これまでの成長の軌跡(売上収益)

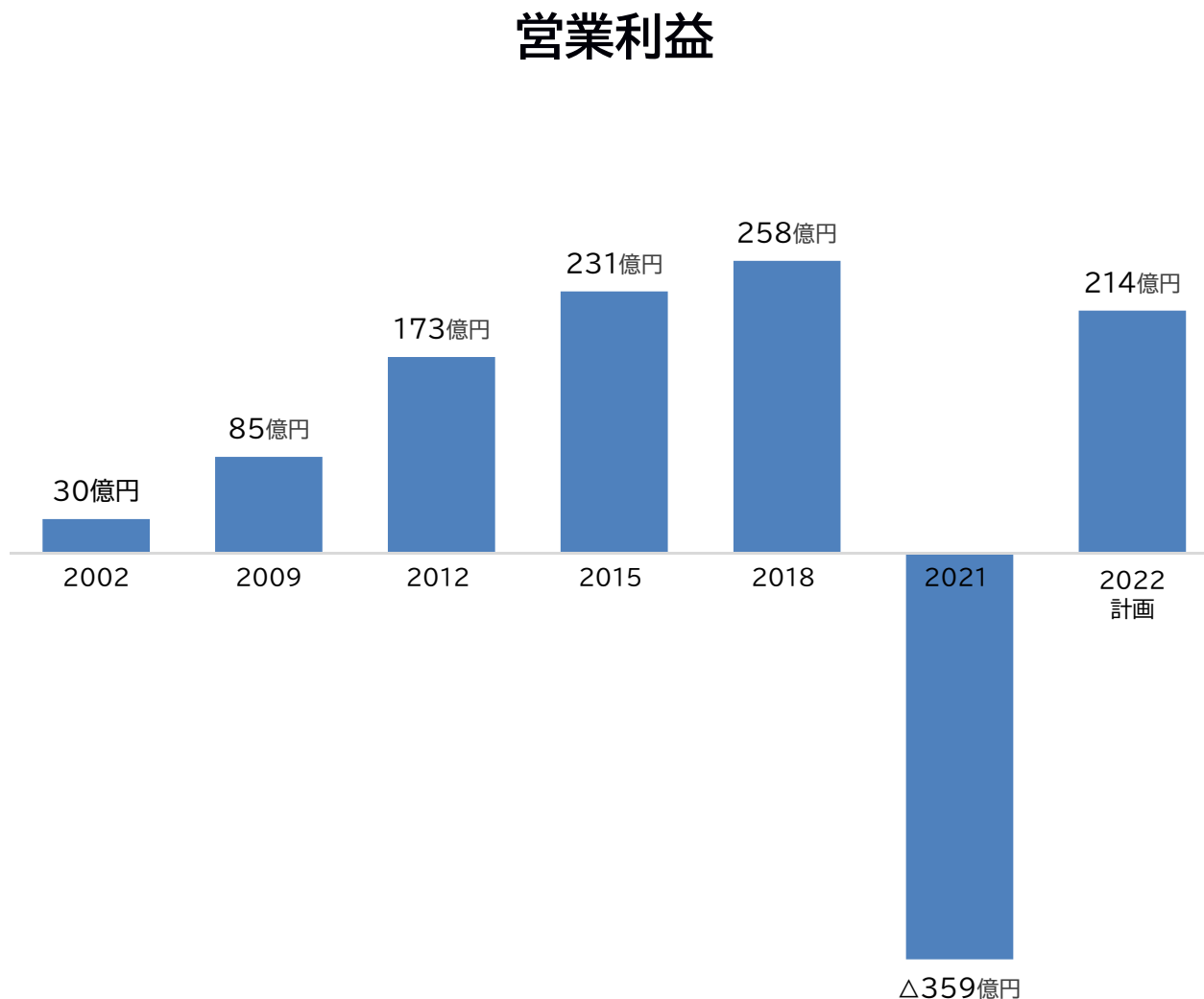
- ジェネリック医薬品の需要拡大を見据えて実施した先行投資が奏功し、着実な成長を実現
- 2017年5月Upsher-smithを買収、米国市場に本格進出



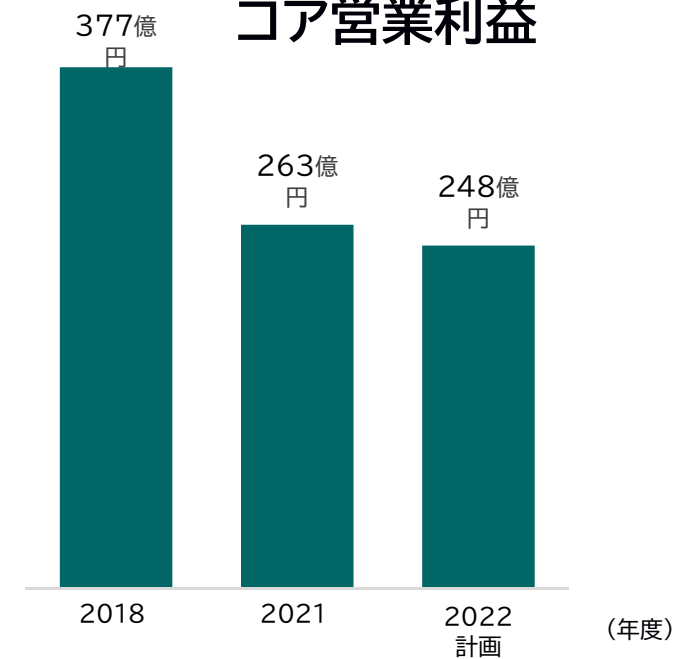
— これまでの成長の軌跡(コア営業利益、営業利益)

- 直近は米国事業での大幅減損により、営業利益は赤字
- 中長期では、国内ジェネリック市場でのシェアアップにより、さらなる利益の拡大を目指す

営業利益



コア営業利益



※1 コア営業利益は、営業利益から償却費・減損損失などの非経常的な要因等による損益を除いて算出

※2 2018/3期以降 IFRS基準

ジェネリック医薬品 サワイの存在意義

ジェネリック医薬品事業を軸に、製薬企業、製造業としてさまざまな取り組みを実行

製薬企業としての貢献



ジェネリック
医薬品の
安定供給



持続可能な
医療保険制度への
貢献



製品付加価値の追求



病気の啓発
シンポジウムやセミナーへの協賛、
医療番組への提供等



製造業としての責任



CO₂、廃棄物等削減の
取り組み



包装資材への再生紙利用



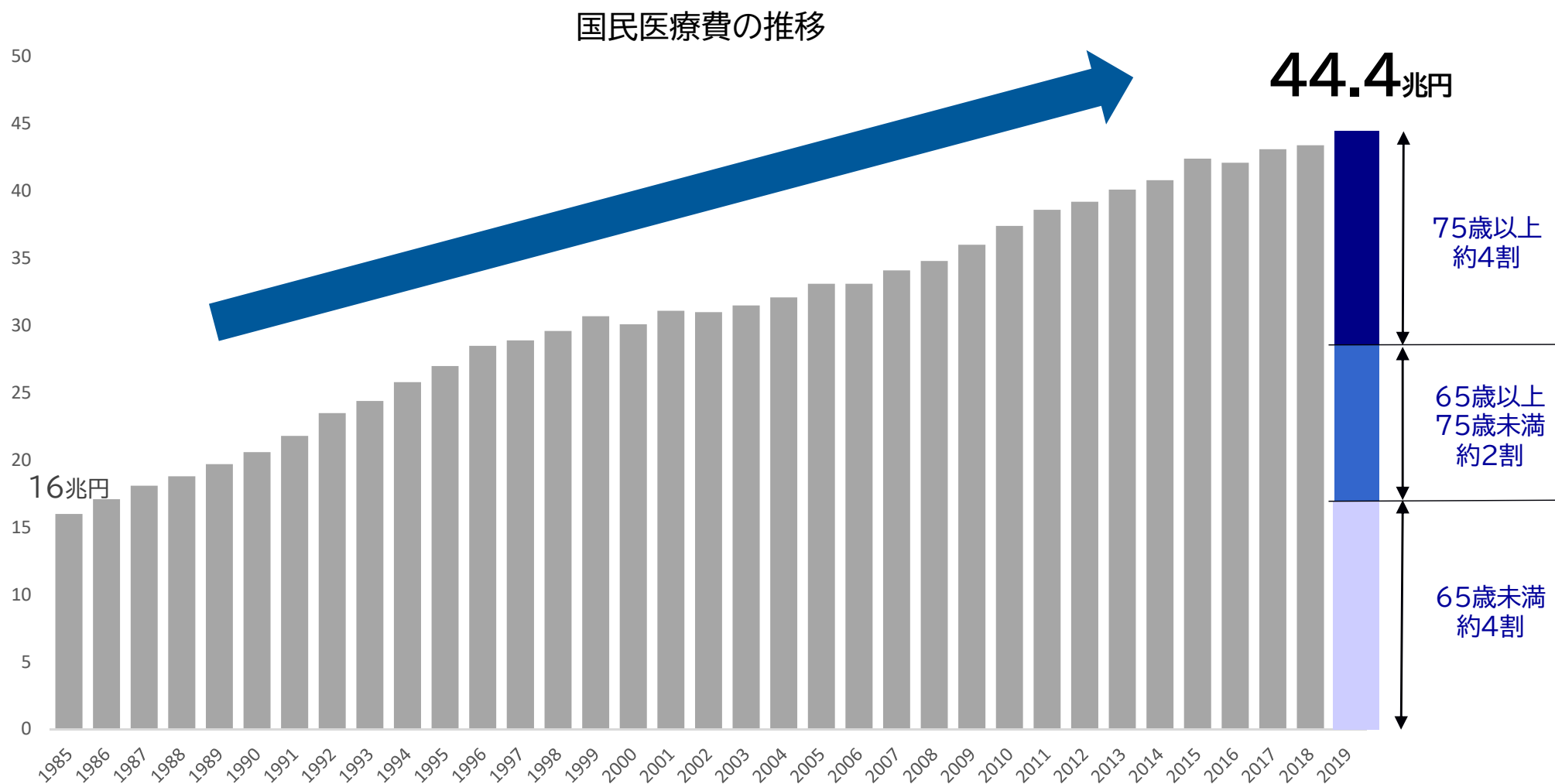
「すべての人に健康と福祉を」への貢献



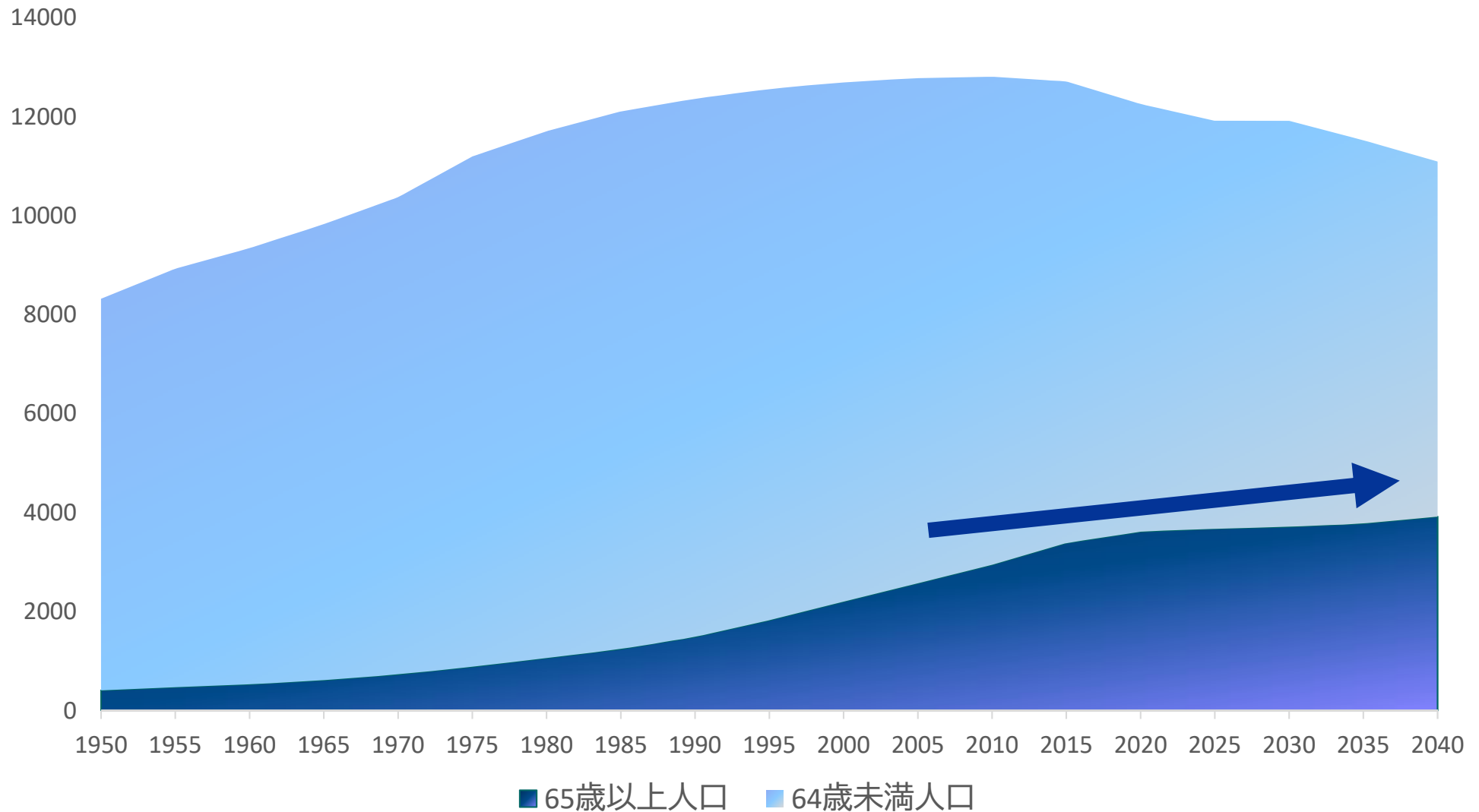
目標3:すべての人に健康と福祉を
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

- ・目標3を重点目標とし、ジェネリック医薬品事業を通じて達成に貢献
- ・今後、ジェネリック医薬品以外の新たな事業やアメリカでの事業拡大により、国内外に貢献範囲を広げていく

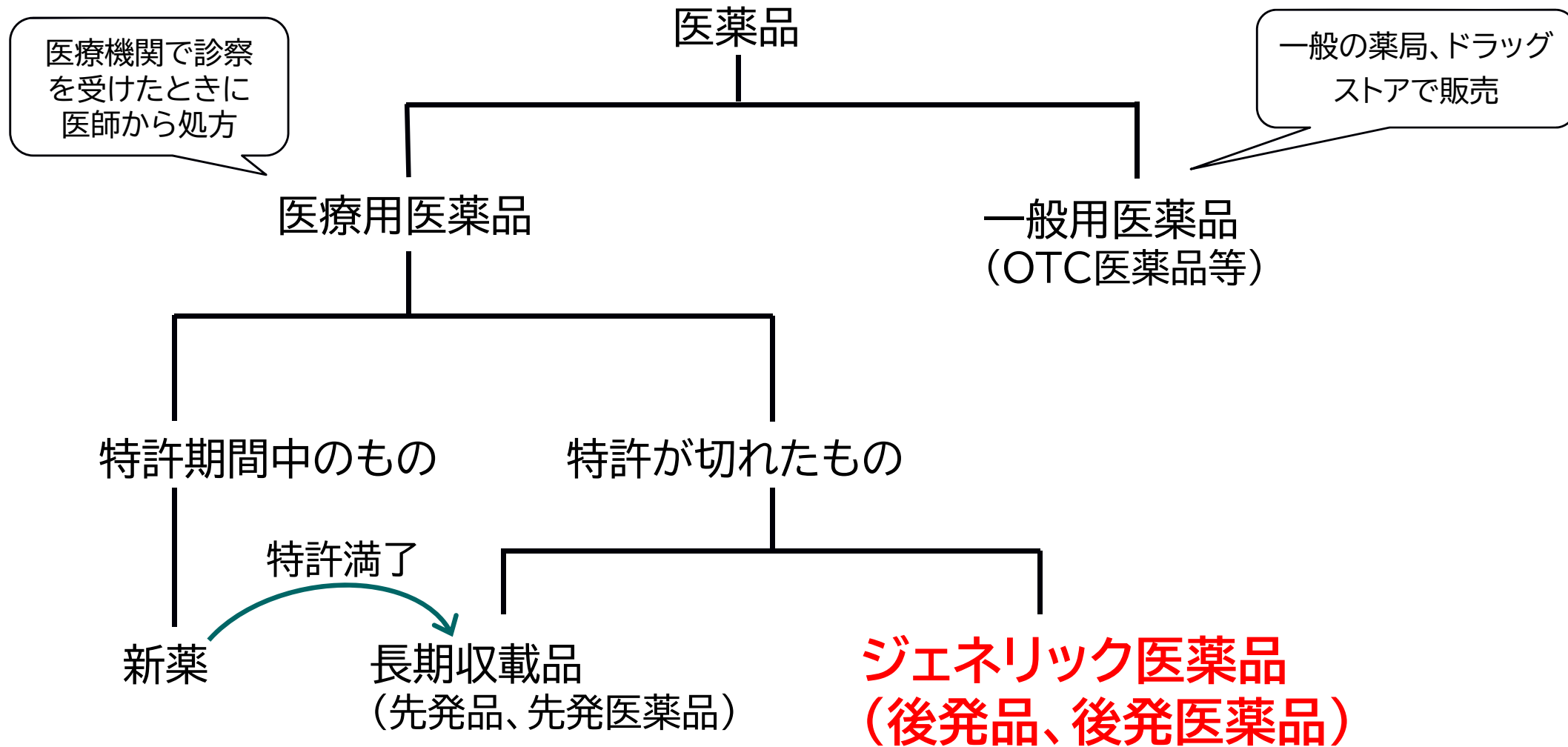
- 高齢化に伴い医療費は年々増加
- 医療費のうち薬剤費は約10兆円



総人口は減少するが65歳以上人口は今後も増加



出典：総務省「統計からみた我が国の高齢者(65歳以上)」をもとに沢井製薬作成



新薬と同等の効き目で価格が安いお薬です

ジェネリック医薬品は、新薬と同じ有効成分を同じ量使用してつくられており、効き目や安全性が新薬と同等であると確認されています。



ジェネリック医薬品の特徴

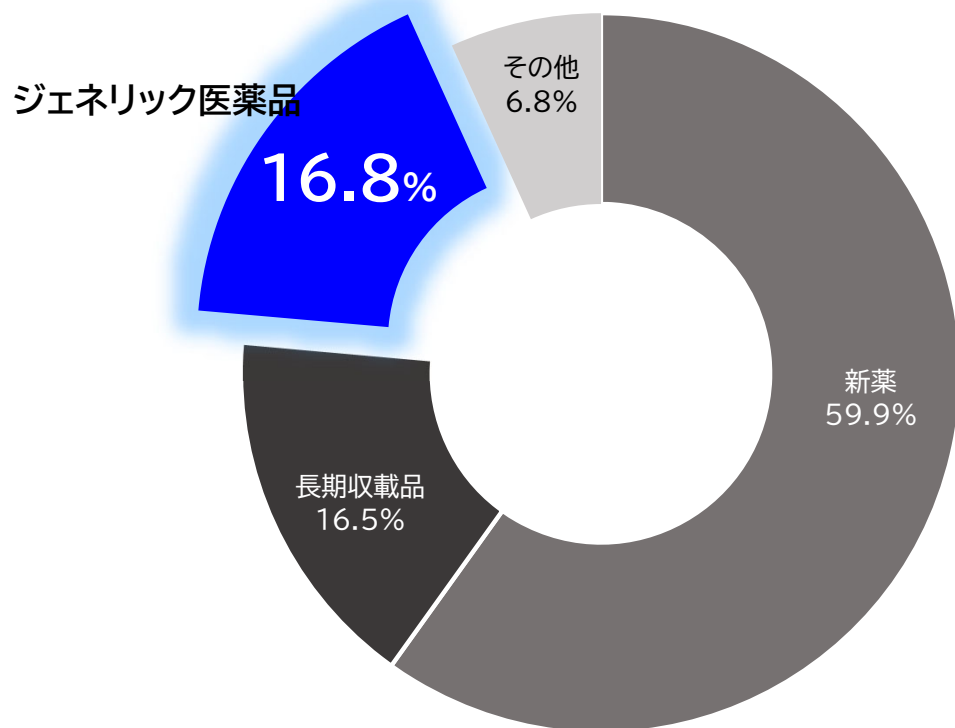
有効成分	有効成分の量	効き目	安全性	お薬代	形状・色・味
新薬と 同一	新薬と 同一	新薬と 同等	新薬と 同等	新薬より 安い	飲みやすく 工夫された製品 もあります

また、新薬と比べて開発にかかる費用が少ないため、お薬代が安くなります。

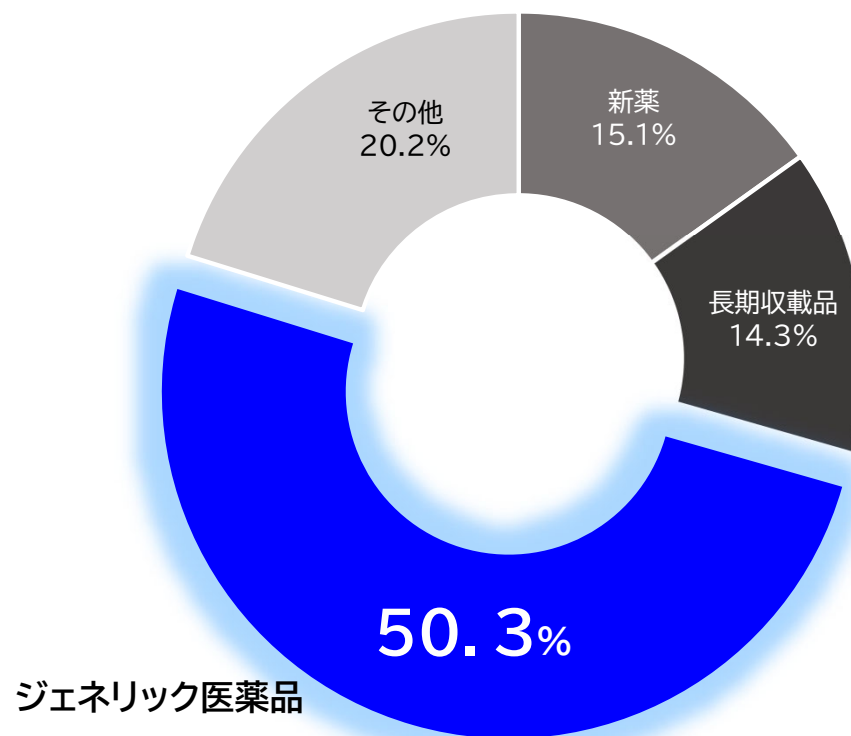


※欧米では一般名（generic name）で処方されることからジェネリック医薬品と言われている。

金額シェア 16.8%



数量シェア 50.3%



※OTC医薬品除く

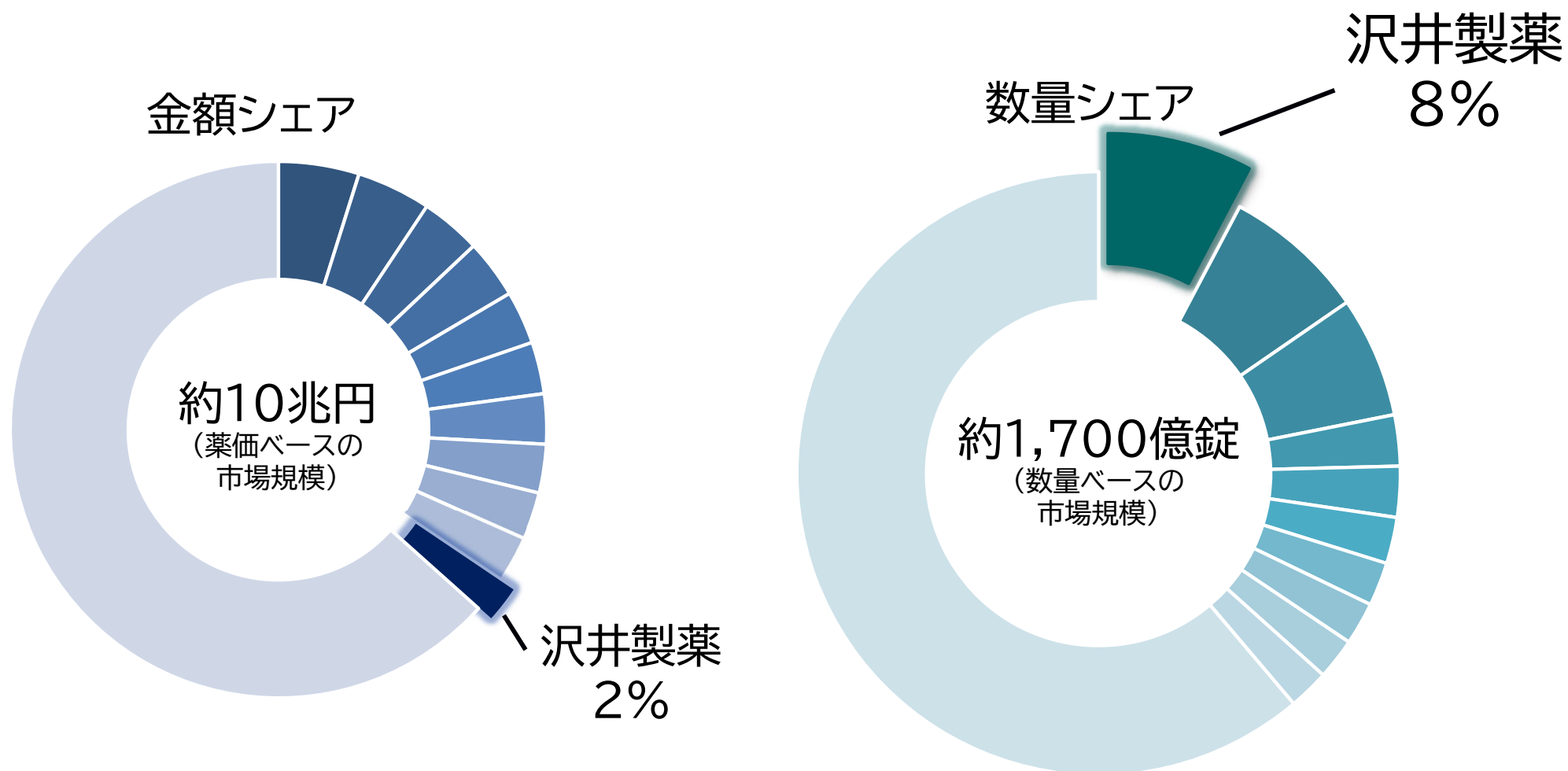
厚生労働省「令和4年度薬価基準改定の概要」より作成

148億

148億錠

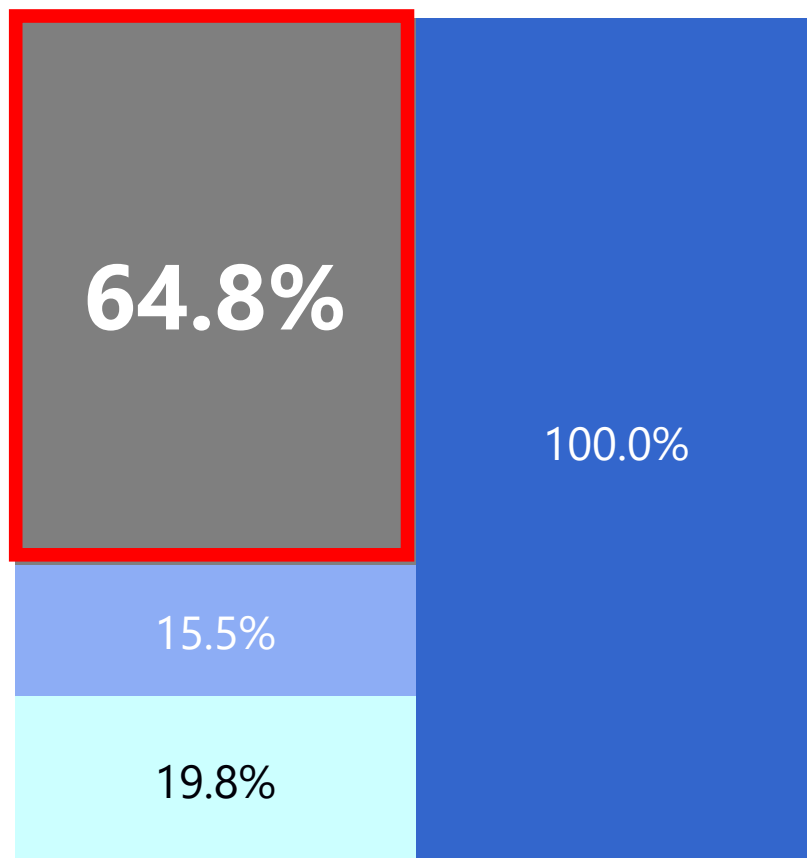
沢井製薬の年間販売数量

- 医薬品供給数量のうち約8%のシェアを占め、社会インフラとなっている



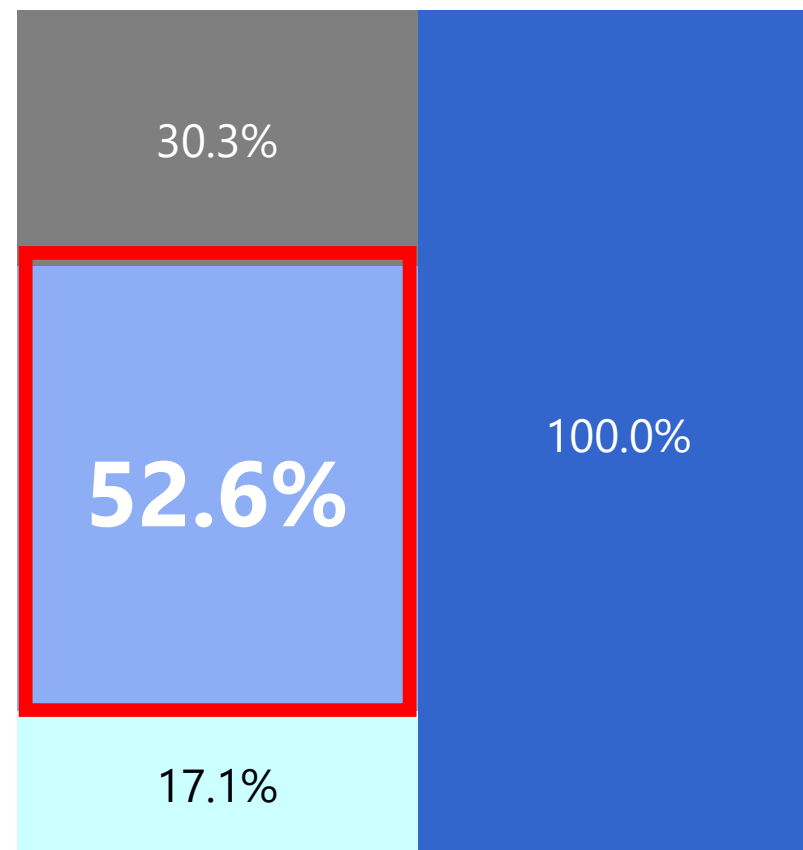
※OTC医薬品除く

沢井製薬



営業利益 販管費等 売上原価 売上

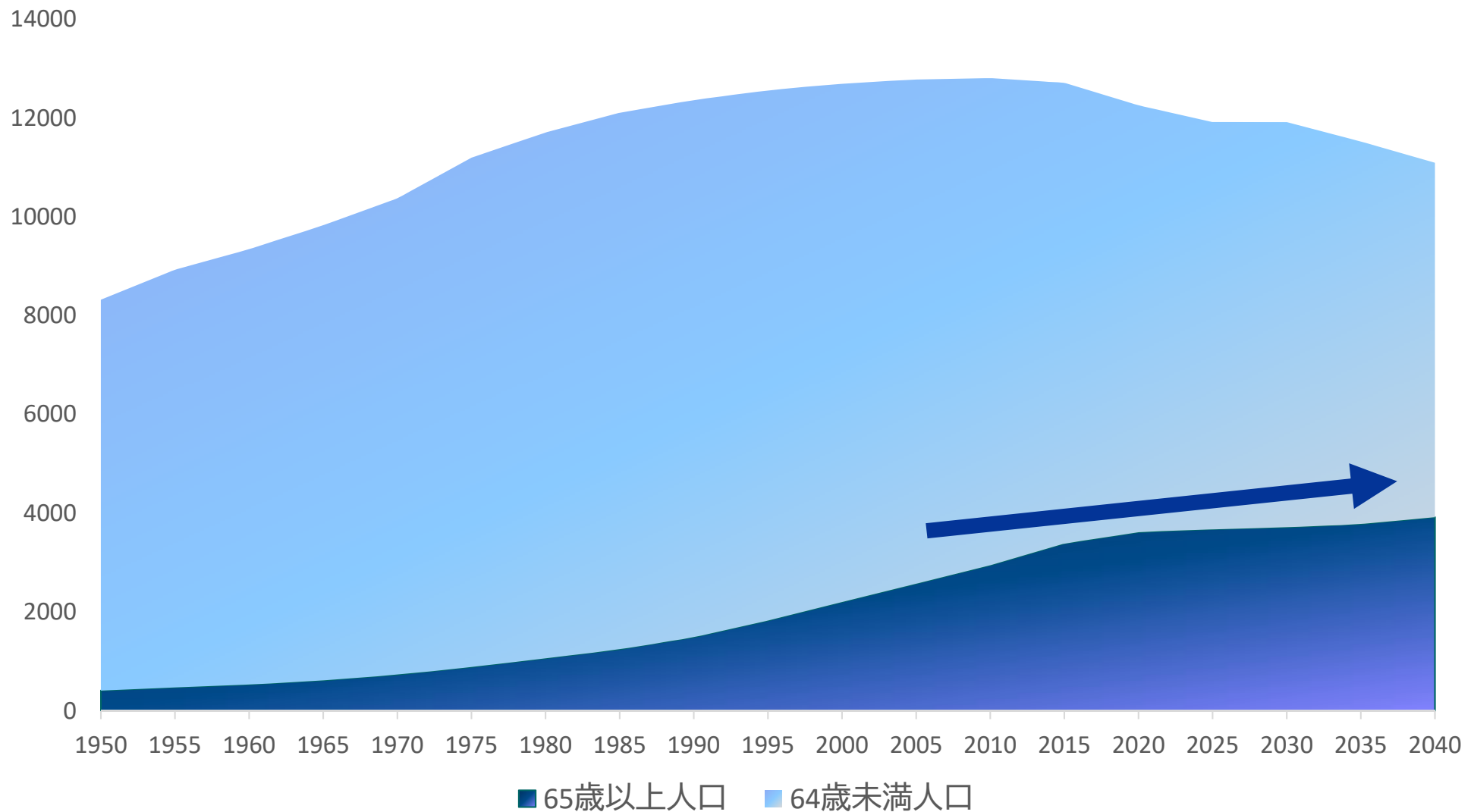
大手新薬メーカー5社平均



営業利益 販管費等 売上原価 売上

外 部 環 境

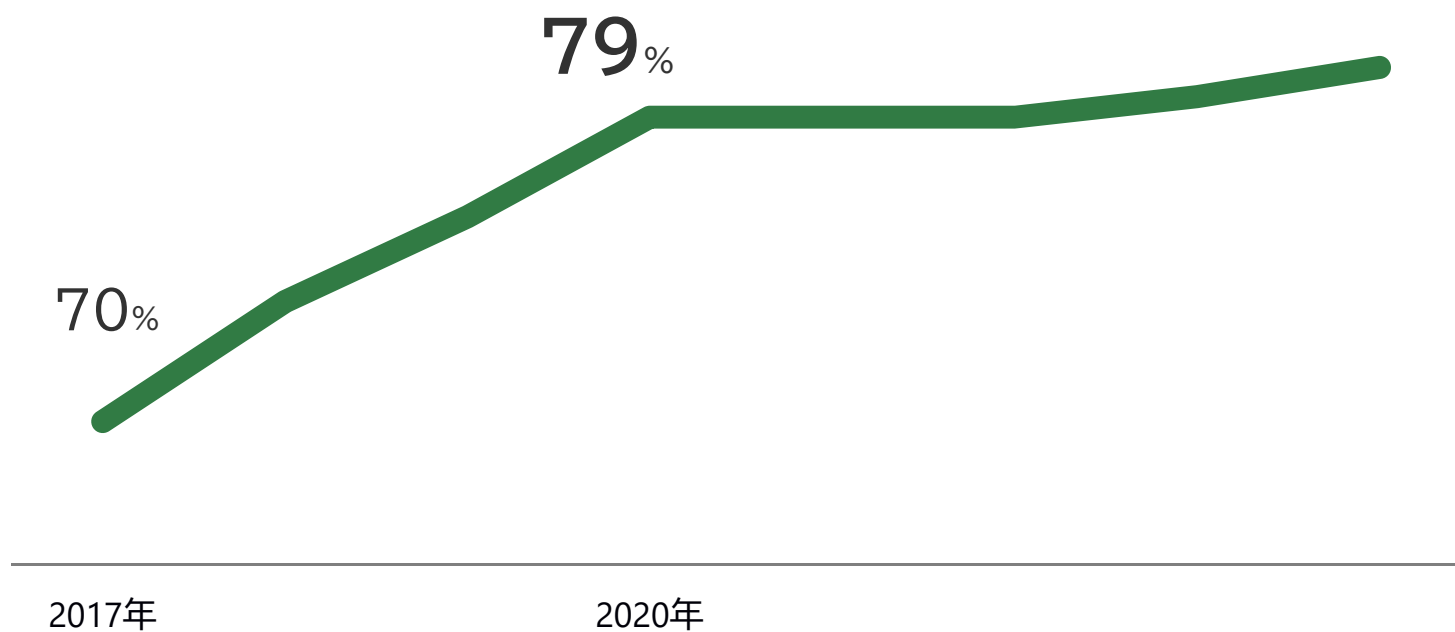
総人口は減少するが65歳以上人口は今後も増加



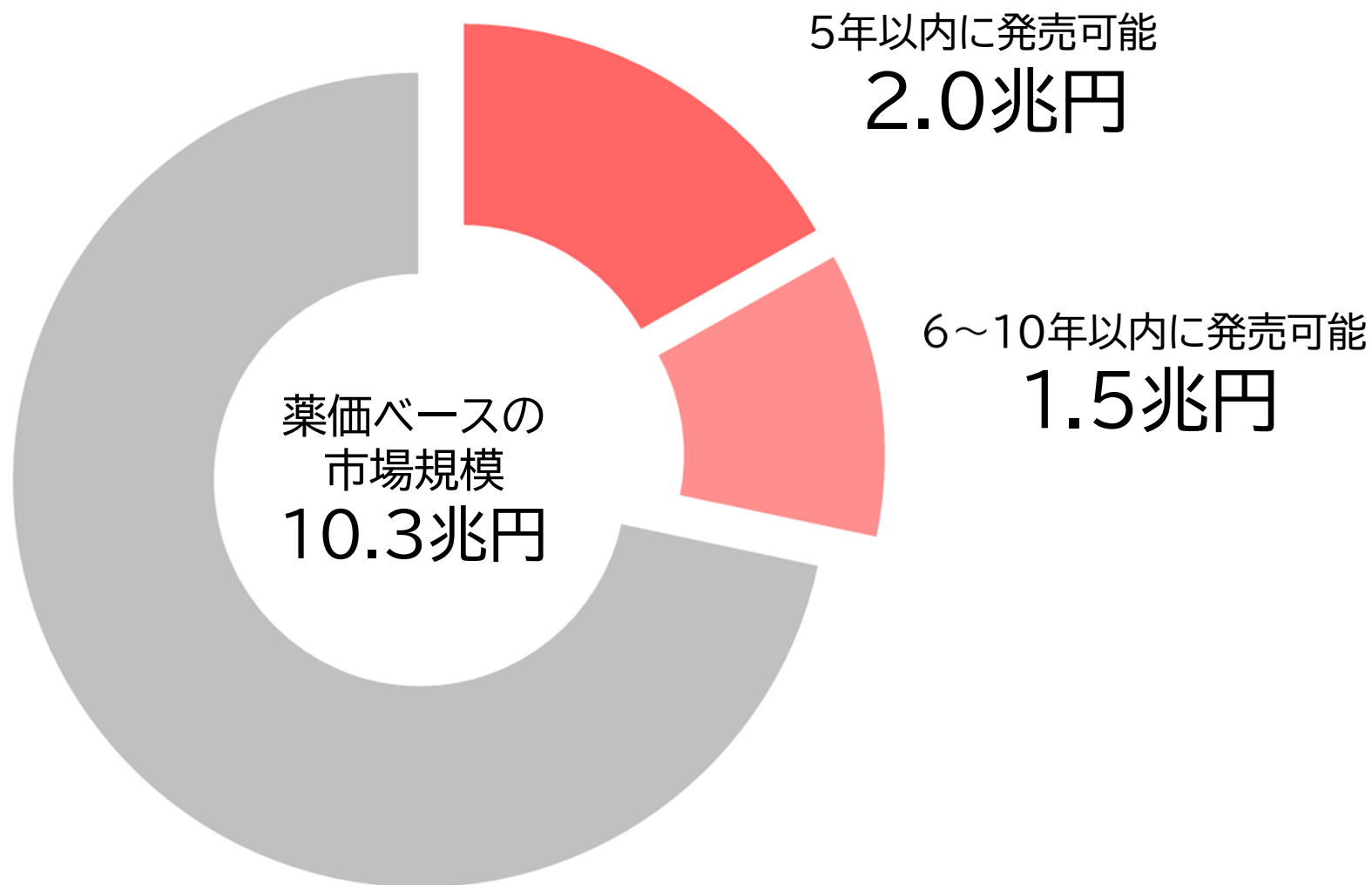
出典：総務省「統計からみた我が国の高齢者(65歳以上)」をもとに沢井製薬作成

- 2017年以降3年間で数量シェアは80%近くまで上昇
- 今後は成長鈍化を見込むものの一定程度の需要拡大を予想

国内ジェネリック医薬品の数量シェア推移

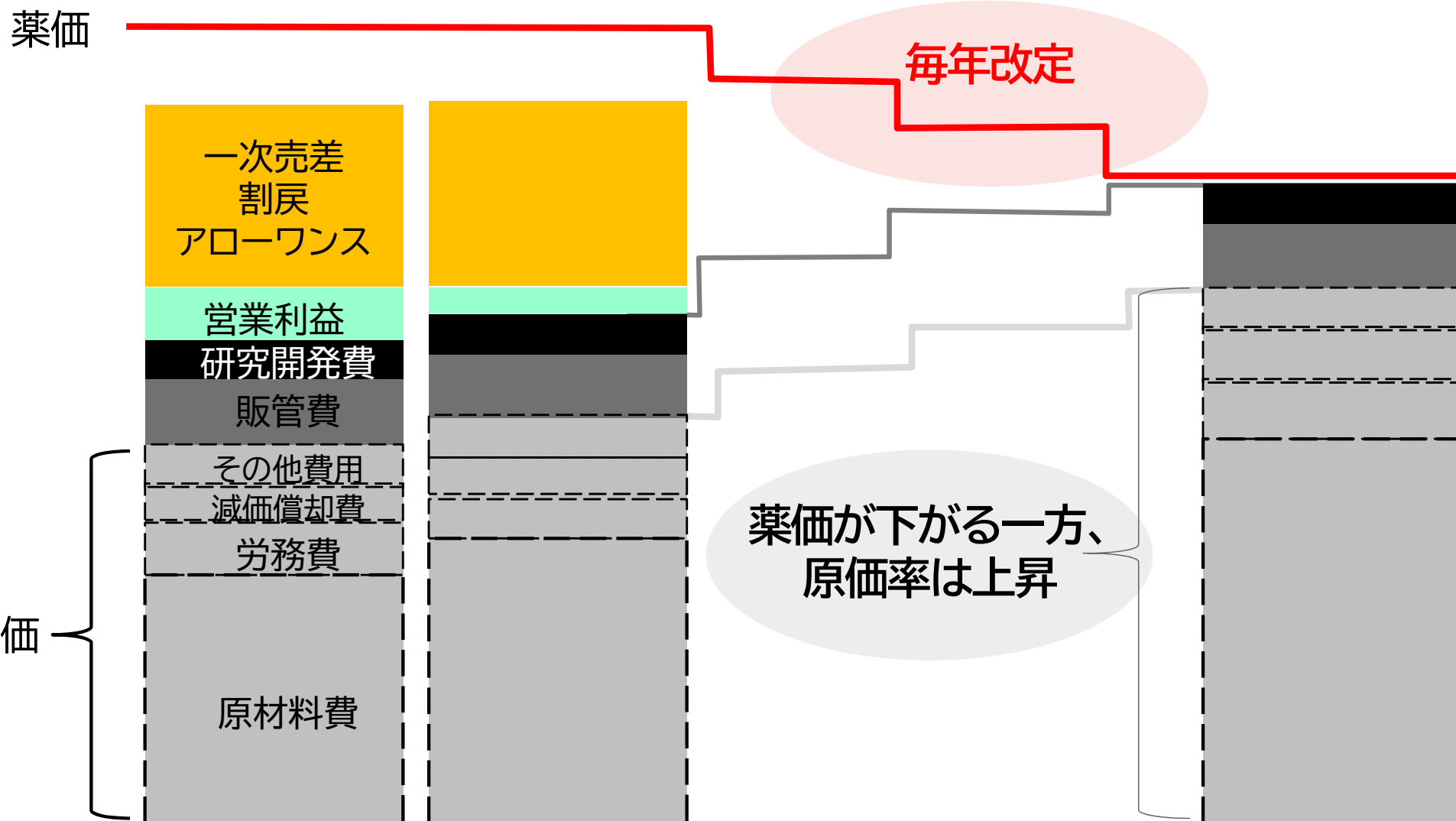


*数量シェアは当社推計値

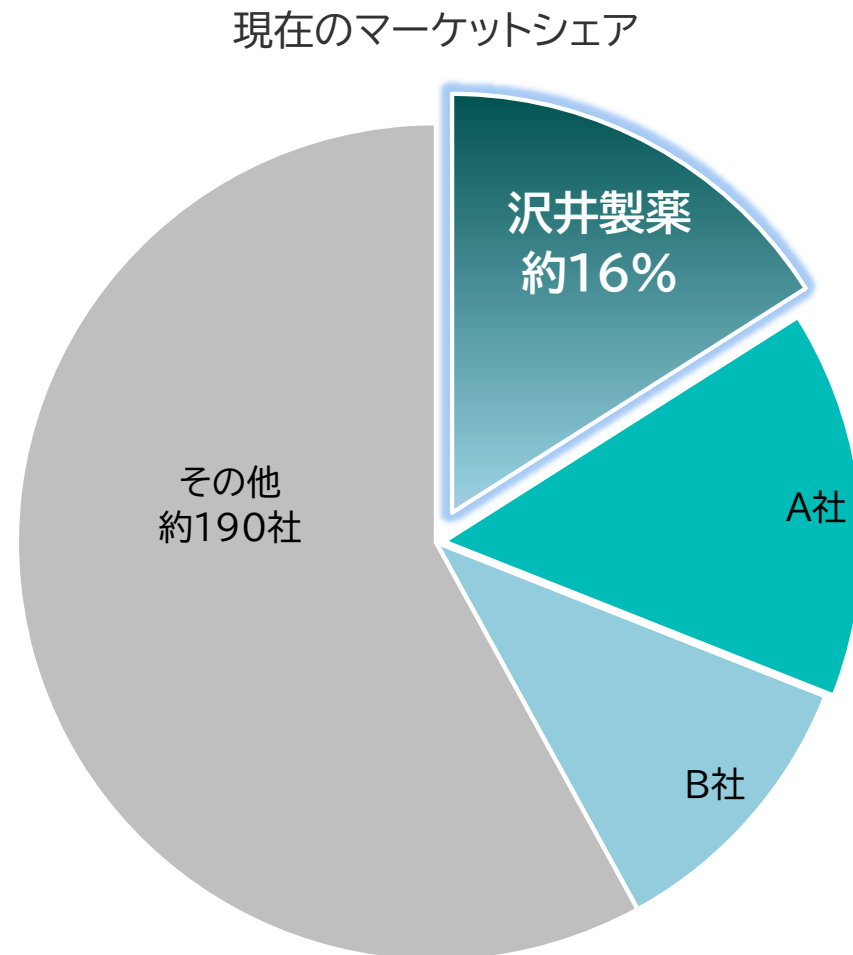


Copyright © 2021 IQVIA.
JPM 2021年3月MATをもとに沢井製薬分析（無断転載禁止）

薬価下落により業界全体の収益性が悪化



- 業界全体の収益性が悪化
- 今後淘汰、再編が進むと予想



*シェアは当社推計値

- ◆製品開発力(特許調査・分析力、製剤開発力)
- ◆生産の効率化と安定供給力
- ◆品質関連規制への対応、積極的な情報開示
- ◆安定した財務基盤

勝ち残りの条件・
当社の強み

- できるだけ早くジェネリック医薬品を販売することで医療費削減に寄与
- 他社に先駆けた販売により、高い市場シェアを獲得

開発候補品目の
特許※を調査・分析



特許の回避、無効化
を検討



他社に先駆けて発売

過去のケース

- ◆ 先発品の用途特許について特許無効審判を請求、無効審決となり先行発売
- ◆ 特許を回避して製剤化を実現

※ 医薬品の特許には以下の特許がある
物質特許 用途特許 結晶形特許 製法特許 用法用量特許 製剤特許

患者さんや医療関係者の皆さんの声を生かし、より良いお薬を作っています

原薬選び

- ◆ 厳しい規格をクリアする良質なものだけを選定
- ◆ サワイでは、厚生労働省が定めるものより厳しい自主基準に適合した原薬を使用
- ◆ 高い品質を守るため、原薬の段階からその物性（性質や状態）なども徹底的に分析し、厳選



製剤化研究

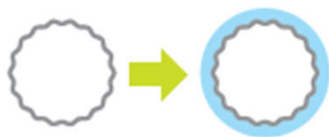
- ◆ サワイジェネリックの研究開発のポイント
 - ・タイムリーでスピーディーな開発
 - ・新薬と同じ有効成分・同等の効き目で、さらにより良い品質の医薬品を作ること



最新の技術で様々な工夫をしています



お薬を飲みやすくする工夫



コーティングで
苦味を軽減



飲みやすい
大きさ、形に



水なしでも飲める
お薬に

お薬を扱いやすくする工夫



お薬の名前を
表示



表示を大きく



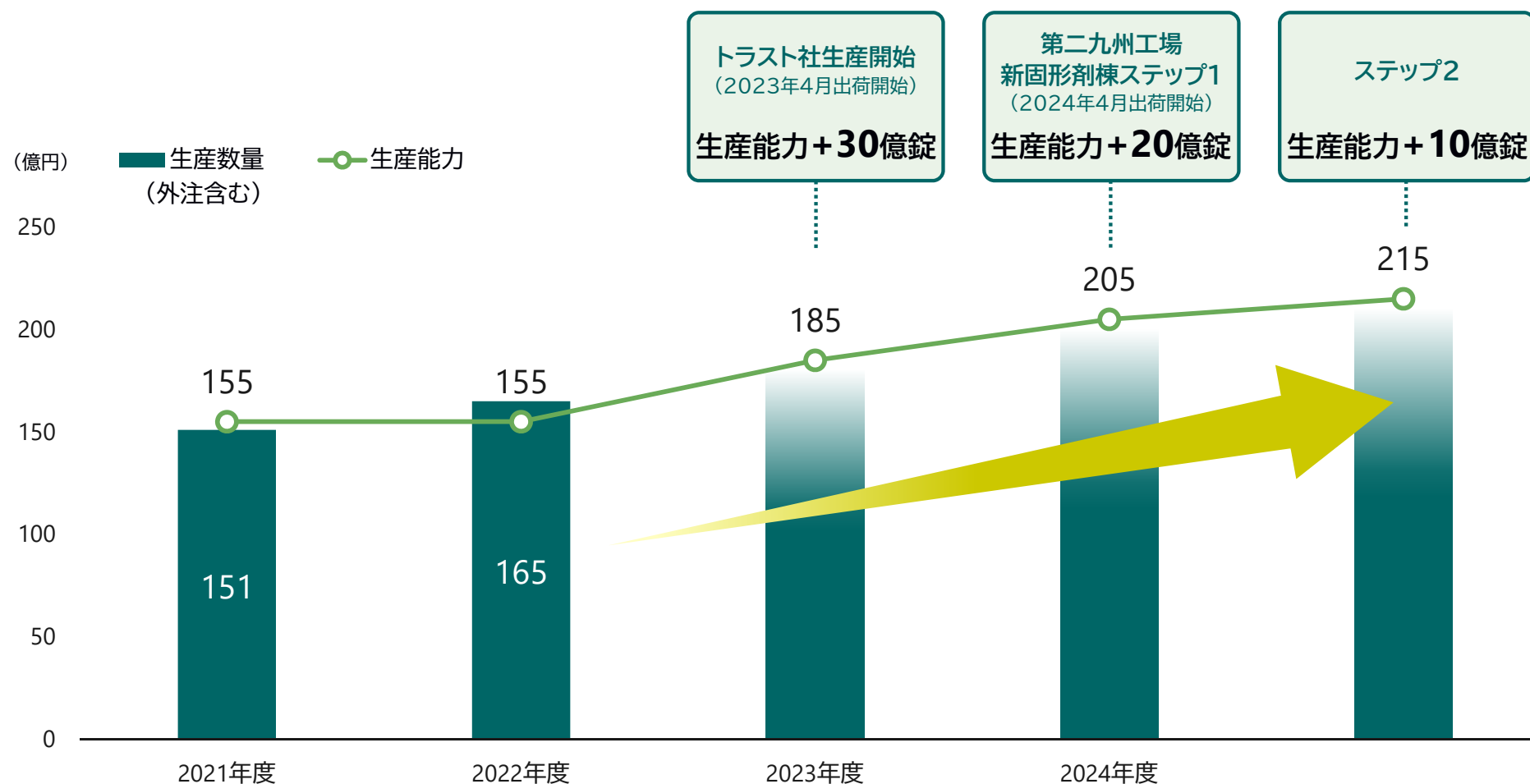
お薬を
取り出しやすく

当社製品

約800品目の製品ラインナップ
生活習慣病用剤から抗がん剤まで、幅広い疾患に対応



- 業界随一の供給力
- さらなる増産により国内ジェネリック市場内でのシェア拡大



国内ジェネリック市場シェア拡大に向けた取り組み ～トラストファーマテック株式会社について

- 小林化工の生産活動に係る資産及び関連部門人員の譲り受けを目的にトラスト社を設立
- 3月末日に医薬品製造に係る資産を譲受
- 同社工場での初出荷は2023年4月を予定

■ トラスト社の概要

設立年月日	2021年12月3日
主な事業内容	医療用医薬品の製造
本社所在地	福井県あわら市矢地5-15
代表取締役	蓮尾 俊也(はすお としや)
従業員数	403名(2022年4月1日現在)
生産能力	30億錠

■ 今後のスケジュール



PV : プロセスバリデーション(Process Validation)

■ 製造・研究施設



国内ジェネリック市場シェア拡大に向けた取り組み ～第二九州工場 新固形剤棟建設

- 2021年10月に第二九州工場の新固形剤棟建設投資を決定
- 生産能力は、ステップ1、ステップ2合計で30億錠、初出荷は2024年4月を予定

■ 本件の概要

目的	需要増加、今後のジェネリック医薬品のさらなる市場拡大に対応するため
名称	第二九州工場 新固形剤棟
所在地	福岡県飯塚市平恒1144-3
投資額	ステップ1：約350億円 ステップ2：約55億円
生産能力	ステップ1：2024年に20億錠追加 ステップ2：10億錠追加 (ステップ2は、他社を含む市場の動向、 当社新製品開発状況等を勘案し遅滞なく実施)
新規雇用 予定人数	ステップ1：330名 ステップ2：490名(ステップ1を含む総人数)



■ 今後のスケジュール



国内における供給体制



九州工場（福岡県飯塚市）
敷地面積70,351㎡
生産能力22億錠
就業人数 約380名



三田工場（兵庫県三田市）
敷地面積14,686㎡
生産能力48億錠
就業人数 約240名



三田西工場（兵庫県三田市）
敷地面積23,136㎡
就業人数 約130名
※包装のみを実施



鹿島工場（茨城県神栖市）
敷地面積146,200㎡
生産能力30億錠
就業人数 約320名



第二九州工場（福岡県飯塚市）
敷地面積60,395㎡
生産能力20億錠 / 就業人数 約340名
➡2022年9月より新固形剤棟建設開始
最終的には30億錠の生産力追加を計画



トラストファーマテック（福井県あわら市）
敷地面積89,150㎡
生産能力30億錠
就業人数 約403名



関東工場（千葉県茂原市）
敷地面積135,857㎡
生産能力35億錠
就業人数 約520名

- 原薬や添加剤の選定から、製造過程、販売後に至るすべての工程において、国の基準を上回る基準を設けて、品質管理を徹底



沢井製薬の品質に対する取り組みや考え方、教育体制などについて、動画でご紹介
【動画掲載URL】

https://www.sawai.co.jp/sawaigenerics/initiatives/quality_movies/

2030年のVision

創りたい世界像

より多くの人々が身近に
ヘルスケアサービスを受けられ、
社会の中で安心して
生き活きと暮らせる世界



ありたい姿

個々のニーズに応じた、
科学的根拠に基づく製品・サービスを
複合的に提供することで、
人々の健康に貢献し続ける
存在感のある会社

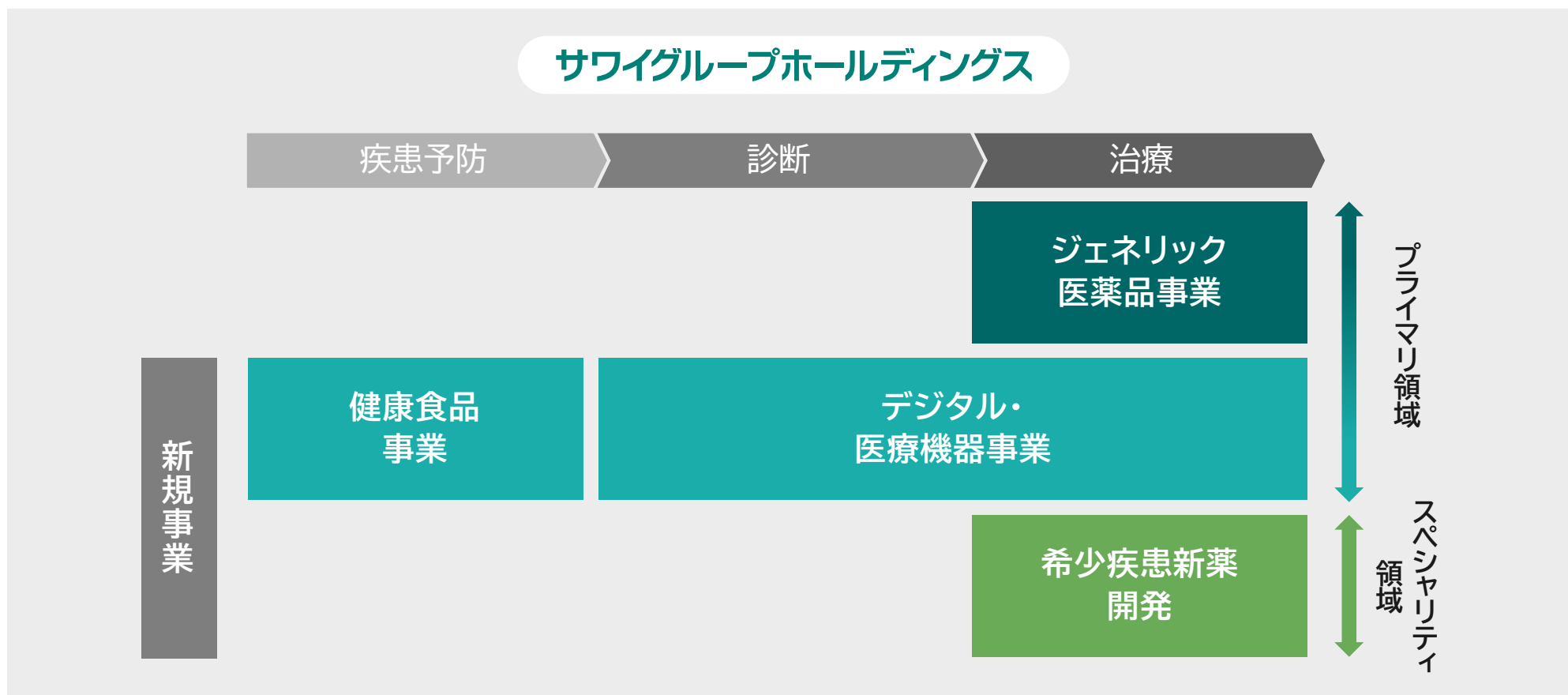
(円/\$ = 100)

目標及び前提数値

		2021年度実績	「Vision 2030」 2030年度
日本事業	売上収益	1,638億円	2,600億円
	販売数量	148億錠	200億錠
	販売数シェア	16.3%	20.0%以上
	生産能力	155億錠	230億錠以上
新規事業	売上収益	—	800億円
米国事業	売上収益	300億円	600億円
売上収益合計		1,938億円	4,000億円
ROE		—	10%以上

ジェネリック医薬品事業を中核に新規事業も育成

プライマリ領域において、予防から治療まで幅広い範囲で、薬剤治療に限らない選択肢を提供
また、これまでにない治療機会を提供すべく、希少疾患領域の新薬開発事業にも参入



ジェネリック医薬品
事業



新規事業への進出

1 国内GE市場におけるシェア拡大

- 新製品の売上増加
- 安定供給力の強化

2 米国事業における将来の成長に向けた事業投資

3 新たな成長分野の開拓

- デジタル・医療機器事業
- オープン医薬品事業(ALS等)
- 健康食品事業

米 国 事 業

米国事業の目指す姿と成長戦略

目指す姿

- スペシャリティGE医薬品企業として、独自の販売力を活かせるGE医薬品、ブランドジェネリック、ブランド薬にフォーカス
- 持続的で長期に亘る成長を推進

成長戦略

- 既存ブランド薬の販売を促進。USLの知名度を活用し収益を拡大
- 製品コストダウン施策による利益率の増加
- ニッチなジェネリック医薬品を中心に製品ラインナップの充実
- 提携によるパイプラインの強化

新規事業

デジタル・医療機器事業

片頭痛・うつ病向けデジタル医療機器 Nash領域におけるDtx※1

※1 Digital Therapeuticsの略。ソフトウェアを用いた治療のこと



Presented by
PHR※2管理アプリ「SaluDi」

※2 パーソナルヘルスレコード。日々の健康状態の記録・管理、
オンライン診療予約、未病・予防対策情報閲覧の機能を搭載

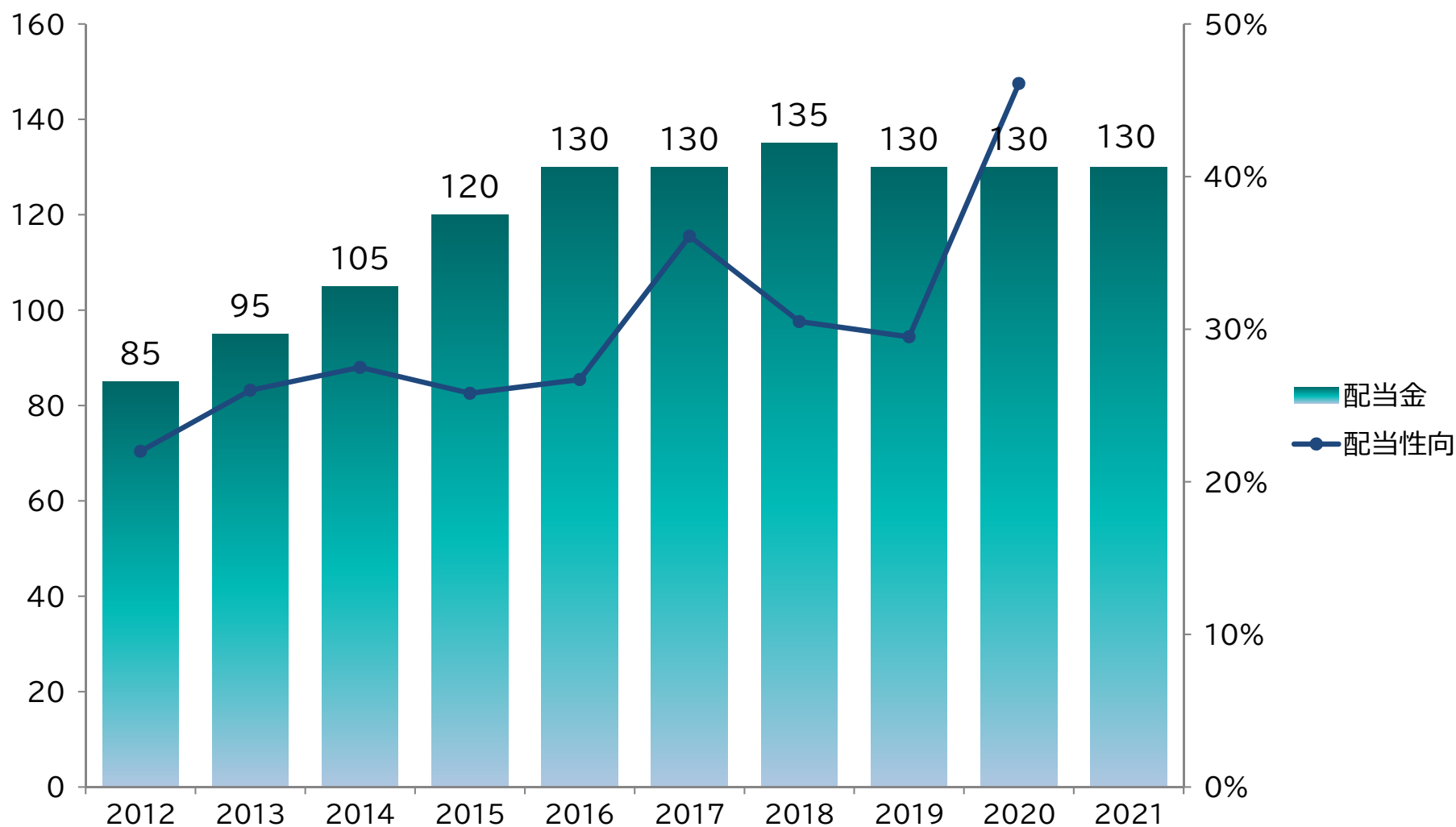
新薬事業(オーファン疾患)

健康食品事業



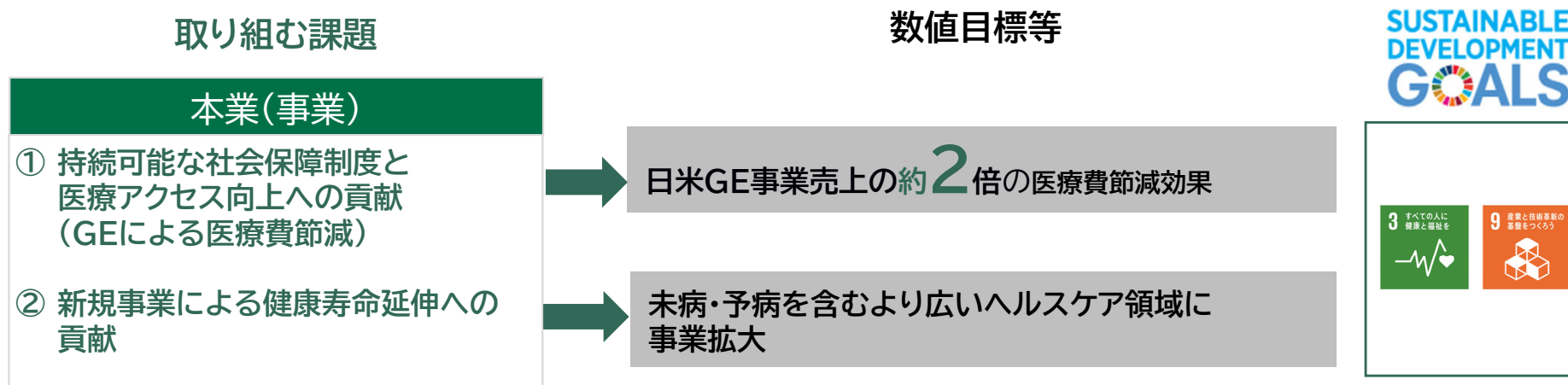
株 主 還 元

配当性向30%を目途とした、安定配当を実施



※2013年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
これに伴い、2013年度の期首に株式分割を行ったと仮定。2012年度はその分割を考慮し、再計算した金額を掲載

社会課題解決に向けた 取り組み

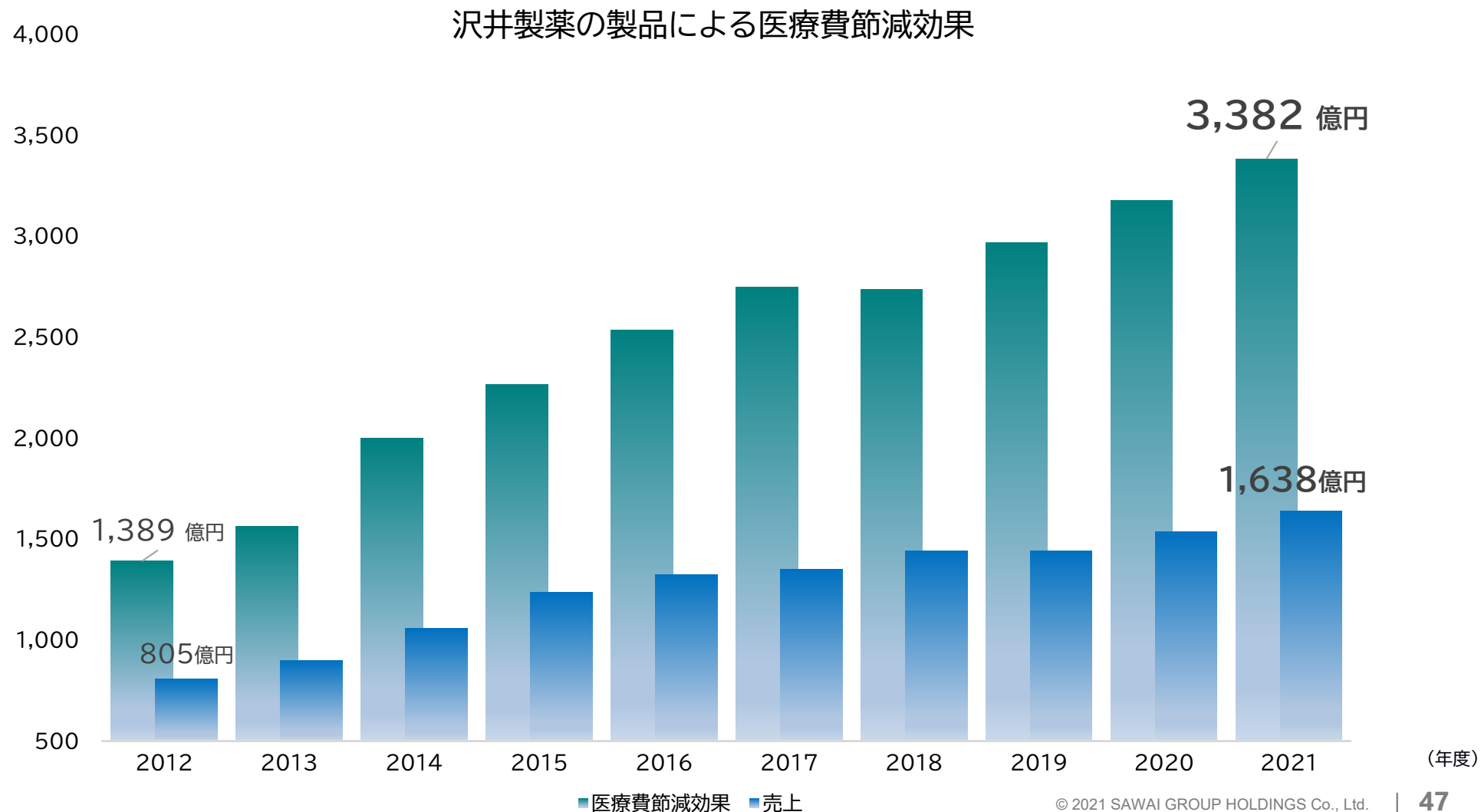


中核のジェネリック医薬品事業においては、
医薬品の社会インフラ企業として、なくてはならない企業となり、社会的責任を果たしていきます。
また、社会と共に持続的に発展するヘルスケア企業グループとして、
ひとりでも多くの人々の健康に貢献できるように努めてまいります。

沢井製薬が取り組んできた事業を通じた 社会課題への取り組み

サワイのビジネスモデル:

患者さんの健やかな暮らしの実現と医療費節減による持続可能な社会への貢献
社会課題解決への取り組みを通じて成長を実現



ご清聴ありがとうございました

- 本資料に記載されている弊社グループの計画・予測・戦略などにつきましては、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断にもとづくものです。従って、潜在的リスクや不確定要素により、実際の業績と異なる可能性があります。
- 潜在的リスクや不確定要素には、弊社グループの主たる事業領域であります医療用医薬品を中心とした経済環境、市場における競争況、弊社グループのサービス等が考えられますが、これらに限定されるものではありません。

なによりも健やかな暮らしのために
サワイグループ
ホールディングス株式会社